



平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果について

校長 朝原 嘉彦

本年度4月18日(木)、第3学年を対象に実施した標記調査結果の概要をまとめましたので、お知らせいたします。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の内容

(1) 教科に関する調査〔国語、数学、英語〕

国語、数学、英語はそれぞれ次の(ア)と(イ)を一体的に出題

(ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

(イ)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」に関する問題を出題。

(2) 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。



3 結果の概要

(1) 本校の結果

国語は平均を明らかに下回っている。

数学は平均を大きく下回っている。

英語は平均を明らかに下回っている。

国語科、数学科、英語科、全ての教科で平均を下回っており、過去の実績を含めて経年的な分析と継続的・計画的な対策が必要である。



(2) 国語に関する結果

○ 国語『知識と活用を一体的に出題』

【力が発揮されている問題】

・該当項目なし

【課題が感じられる問題】

- ・話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
- ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
- ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く

(3) 数学に関する結果

○ 数学『知識と活用を一体的に出題』

【力が発揮されている問題】

・該当項目なし

【課題が感じられる問題】

- ・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
- ・事柄が成り立つ理由を説明することができる
- ・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる

(4) 英語に関する結果

【力が発揮されている問題】

・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる

【課題が感じられる問題】

- ・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
- ・文の中で適切に接続詞を用いることができる
- ・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる

(5) 学習状況に関する結果

【成長が感じられる項目】

基本的な生活習慣の項目は徐々に改善してきている。自己認識も確実に肯定的認識へと変化してきている
各項目の経年比較では確実に向上している

【課題が感じられる項目】

自分自身の能力に自信が持てず、様々な力を伸ばす取組には意欲が喚起されず消極的な行動が感じられる
また、本年度から3学年の朝読書を学習に切り替えており読書項目が低い傾向を示している

4 本校の課題

彦島中の子供たちは、計画的・継続的な取組不足から、基礎的な知識や技能が十分に身に付いていない傾向がある。

学習に対する意欲や関心は徐々に向上してきているが、成功体験や経験不足から取組や活動の粘り強さや振り返りに欠け、成果が現れにくくなっている。

5 今後の対策

- ・家庭や地域、幼稚園や小学校と連携し、地域の教育環境を見直して幼児期・児童期を含めた継続的・計画的な教育環境づくりから体験を導き出し、学びに対する意欲や態度の向上を図る。
- ・授業における「目標(めあて・ねらい)の提示」「話し合いの実施」「ふりかえりの実施」の3点の徹底を今後も継続し、「主体的、対話的で、深い学び」の視点を追究した学習活動に取り組む。